

オープン市場短信 (2015年6月)

2015. 6. 9

◆ 5月のCP市場動向

5月のCP（短期社債）月末残高は15兆9433億円と、10か月連続前年同月比増となった。前月比では1997億円の増加であった。一般事法では904億円の増加、金融機関で1577億円の増加となった。一方、その他金融が494億円、ABCPが498億円の減少となった。6月末までのショートターム物の発行が入札形式発行の7割強を占め、四半期決算の有利子負債圧縮を見据えた動きとなっていた。

発行レートの動きについては、月中旬までは発行が少なく、レートは横這い圏内での出合いであった。中旬以降、発行増に伴いレートはやや上昇地合いとなった。最上位銘柄では0.07%台前半～0.085%近辺、a-1格の一般事業法人では0.08%台半ばから0.09%近辺の出合いが中心となった。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（a-1+格）0.083%。一般事業法人（a-1格）0.849%～0.109%。

その他金融銘柄（a-1格）0.0815%～0.145%。

【業態別残高内訳】

(単位:億円)

業 態	5月末残高	4月末残高	増 減
一般事法	40,397	39,493	904
その他金融	63,516	64,010	-494
金融機関	40,042	38,465	1,577
政府系金融	200	0	200
銀行等	15,179	15,189	-10
証券	24,663	23,276	1,387
ABCP	15,478	15,976	-498
計	159,433	157,944	1,489

(注:買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

5月のCPLレートレンジ

(単位 %)

格 付	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月
a-1+(一般事法)	0.0760% ~ 0.0850%	0.0740% ~ 0.0860%	0.0830% ~ ——
a-1(一般事法)	0.0800% ~ 0.1090%	0.0810% ~ 0.0920%	0.0849% ~ 0.1090%
a-1+(リース銘柄)	0.0800% ~ 0.0940%	0.0810% ~ 0.0835%	0.0750% ~ 0.0880%
a-1(リース銘柄)	0.0950% ~ 0.1120%	0.0760% ~ 0.1120%	0.0750% ~ 0.1499%
a-2	0.0980% ~ ケ0.25%	0.1000% ~ ケ0.25%	0.1340% ~ ケ0.25%

《CPオペ》

CP買入オペは、8日・18日が各々3500億円、26日は月末オペ残高の調整から2500億円にてオファーされた。8日のオペでは、4月末近辺の発行増が影響し応札額が1兆円弱と増加したことから、按分レート・平均レート共に上昇した。18日のオペでは、応札可能銘柄が減少したこともあって応札額が6000億円を割り込み、レートが低下する動きとなった。26日のオペでは、オファー額減少とディーラーの売却ニーズが強くレートは上昇した。

【月末オペ残高：2兆3111億円】

日銀CP等買入れオペ実績

(単位:億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
5月8日	5月13日	3,500	9,882	3,488	0.082%	0.089%	42.9%
5月18日	5月21日	3,500	5,989	3,499	0.049%	0.072%	100.0%
5月26日	5月31日	2,500	7,849	2,485	0.083%	0.092%	54.5%

《ABCP》

ABCPの月末残は、前月比498億円減の1兆5478億円であった。前年同月比では879億円減少する結果となった。

《短期社債登録状況》

証券保管振替機構によると、5月末時点における発行登録企業数は変わらず500社。

通算の発行企業数はグリーンが初発行を行い、540社となった。

[訂正] 4月末時点の通算発行企業数 538社→539社

《CP現先市場》

現先(S/N)レートは、レポレートが落ち着いて推移していた為低下地合いとなり、0.06%台前半～0.07%後半での出会い。

◆ 6月のCP市場動向

6月のCP償還額は約3兆5900億円で、前年同月の償還額(約3兆3200億円)を上回っている(除く、相対発行分・金融機関発行CP・ABC P)。

今月の発行動向は、企業の賞与資金手当てや税払い等の資金調達ニーズが生じるため、期落ち比増加が予想される。四半期決算という事もあり、月末までのショートターム案件が多く月末残高は17兆円台前後と思われる。

発行レートについては、最上位銘柄は0.07%台半ばから0.08%台半ばでの出会いを予想。一般銘柄では0.08%台半ば～0.09%台で、発行量の多い銘柄では0.09%台半ばから0.10%台後半での出会いを予想。その他金融・リース銘柄(a-1格銘柄)では、0.09%台前半～0.15%近辺を予想する。

《CPオペ》

今月は、4日(実施済)と16日のオファーが各々3500億円、25日のオファーが4000億円と計3回のオペが予定されている(5月は、8日・18日が各々3500億円、26日は2500億円)。4日のオペでは、応札が9500億円強と膨らんだことから、按分レートが上昇した。今月は月末償還や月中物の発行が多く、次回16日のオペではそうした玉の売却ニーズが強まると思われ、横這いから若干上昇を予想。25日のオペについては、発行レートと応札可能銘柄にもよるが、月末調整でオファー額が増加されていることや6月末越えの発行が少ないことも影響し、やや低下地合いを予想する。

《CP現先市場》

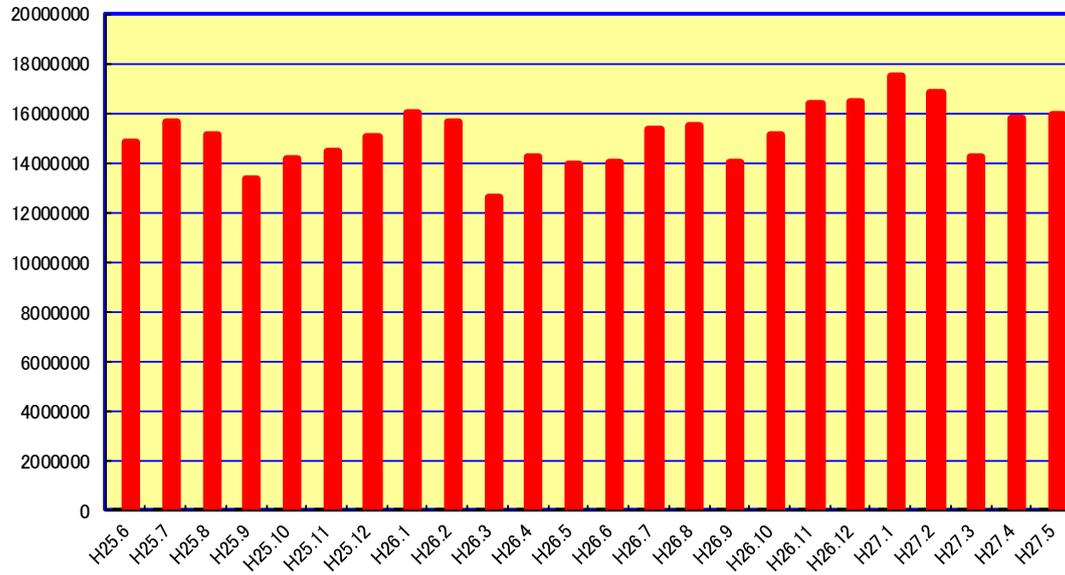
S/N物のレポレートは先月より上昇地合いで、0.05%前後～0.08%台の出会いを予想。インターバンクレートは変わらず、0.065%～0.075%近辺での動きを予想。CP現先レートは、現在レポレート上昇の影響もあって0.08%近辺～0.085%近辺での出会いとなっており、月中旬以降も新規発行増に伴いディーラーの保有も多くなるため、横這いから若干上昇地合いを予想する。

参考資料

短期社債月末残高 (25年6月～27年5月)

発行登録企業：500社（発行実績あり540社）

(過去2年間の残高を表示)



5月末発行残高ベスト20

5月末発行残高上位20社

(単位:百万円)

	発行企業名	5月末残高	4月末残高
1	三菱UFJリース	814,100	812,800
2	三井住友ファイナンス&リース	804,200	802,600
3	三菱UFJモルガンスタンレー証券	767,800	709,800
4	東京センチュリーリース	627,600	623,100
5	SMBC日興証券	606,700	573,700
6	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	545,170	511,230
7	みずほフィナンシャルグループ	500,000	500,000
8	大和証券	469,880	442,880
9	みずほ証券	449,200	431,000
10	JXホールディングス	425,000	375,000
11	三菱商事	381,000	299,000
12	三井住友信託銀行	354,400	358,400
13	芙蓉総合リース	345,200	338,700
14	JA三井リース	340,000	337,000
15	興銀リース	339,300	340,300
16	日本証券金融	324,000	344,000
17	スタンダードチャータード銀行	309,500	286,500
18	エイペックス・ファンディング	282,610	280,100
19	JFEホールディングス	250,000	191,000
20	NTTファイナンス	230,000	239,000
20	ホンダファイナンス	230,000	228,000

参考出所 (株)証券保管振替機構

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性について保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号

大阪本社 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋2丁目4番2号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目2番3号

加入協会 日本証券業協会